



2016年10月31日

各 位

会 社 名：株式会社夢真ホールディングス
(コード：2362 JASDAQ,S)
代表者名：代表取締役社長 佐藤 大央
問合せ先：執行役員管理本部長 片野 裕之
(TEL：03-3210-1212)

2016年9月期の業績見込みと前期実績値との差異についてのお知らせ

当期2016年9月期の連結及び個別の業績見込みと、前期2015年9月期の業績実績との間に下記のとおり
の差異があることが判明いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社は2015年10月30日公表の当期業績予想では、連結の営業利益及び経常利益並びに個別
の業績予想について公表しておりませんが、これらの当期業績見込みが前期実績から大きく変動する
見込みとなったことから、お知らせするものであります。

記

1. 【連結】2016年9月期の業績見込みと前期実績値の比較

(1) 通期 (2015年10月1日～2016年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	21,115	1,726	1,959	1,881	27円84銭
当期業績見込み(B)	23,270	2,433	2,463	1,622	21円76銭
増減額(B-A)	2,154	706	503	△258	
増減率	10.2%	40.9%	25.7%	△13.8%	
(ご参考)2016年9月期 業績予想(2015年10 月30日公表)(C)	23,000	—	—	2,000	26円82銭

※ 当社が2015年10月30日に公表した2016年9月期業績予想値(C)と、本日公表した当期業績見込み
(B)との増減率は、売上高1.2%増及び親会社株主に帰属する当期純利益18.9%減(共に対(C)値)で
あります。

(2) 差異が生じた理由

建築技術者派遣事業にて、技術者の増員及び派遣単価の改善により営業利益が27.6%増加した事に加え、前期では子育て支援、介護及び総合建設事業あわせて342百万円の営業損失がございましたが、2015年6月に行った子会社株式の譲渡により、その減益要因が取り除かれたことから、連結営業利益にて、前年同期比40.9%の増益となる見込みです。

連結経常利益では、子育て支援事業における補助金収入135百万円が、上記、子会社株式の譲渡を行ったことにより営業外収益から取り除かれましたが、営業利益の増加により前年同期比27.5%の増益となる見込みです。

2. 【個別】2016年9月期の業績見込みと前期実績値の比較

(1) 通期(2015年10月1日～2016年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	13,855	1,733	1,970	1,895	28円04銭
当期業績見込み(B)	17,400	2,212	2,390	1,747	23円44銭
増減額(B-A)	3,545	479	420	△147	
増減率	25.6%	27.6%	21.3%	△7.8%	

(2) 差異が生じた理由

建築技術者派遣事業にて、年間2,000人以上の積極採用によって、技術者数が前年同期末比20.8%増加した事に加え、派遣単価が改善された事から、売上高は、前年同期比25.6%の増収となる見込みです。

営業利益に関しましては、派遣単価の改善により売上総利益率が上昇したことに加え、販売費及び一般管理費の上昇を一定にコントロールしたことにより、前年同期比27.6%の増益となる見込みです。

経常利益に関しましては、営業利益の増加により前年同期比21.3%の増益となる見込みです。

当期純利益に関しましては、前期にて、子会社株式の譲渡による特別利益を計上していた関係で前年同期比7.8%の減益となる見込みです。

以上